

対象国の条件:

研修コース番号:201984898-J002

案件番号:201984898

主分野課題:都市開発・地域開発/地域開発

副分野課題:

使用言語:西語

案件概要

中米統合機構加盟国では一般的に都市部と農村部の貧富の格差が大きく、両者を結ぶ幹線道路の整備とそれに伴う沿線の地域開発は重要な課題となっている。本研修は、「道の駅」など、国、地方自治体、地域住民等が一体となった日本（主に北海道）の幹線道路沿線の開発事例を題材として、幹線道路沿線地域の開発計画が帰国研修員のイニシアティブにより立案・実施され、地域住民の所得向上ひいては地域間格差の是正に貢献することを目的とする。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

研修参加者同士の議論等を通じ幹線道路沿線地域開発における課題を明確に理解する。また、所属組織の所掌及び自国の現状を踏まえつつ、日本（主に北海道）での取り組み事例を参考としながら、幹線道路沿線地域開発を進めるためのアクションプランを作成する。

【対象組織】

(1) 地域総合開発計画、幹線道路沿線の地域開発の関係省庁、地方自治体
(2) 中米統合機構 (SICA) 関係機関

【成果】

(1) 北海道総合開発計画の枠組みと北海道における幹線道路沿線地域開発の概況について理解する。
(2) 日本（主に北海道）の事例（インフラ整備、地域産業振興、商業化支援、観光開発等）を通じ、幹線道路沿線地域活性化の実践方法を理解する。
(3) 「道の駅」の事業制度と運営上のノウハウ（官民連携、起業支援、住民組織（組合）との協働、マーケティング、ブランディング、広報等）の習得を通じて、沿線地域開発における「道の駅」の果たす役割を理解する。
(4) シーニックバイウェイ制度をはじめとする地域開発の事例を通じ、幹線道路沿線地域の活性化に向けた地域共同体との連携方法を理解する。
(5) 幹線道路沿線地域開発における自国及び中米統合機構加盟国共通の課題を明確化し、自国の現状に適した幹線道路沿線地域の開発に向けた所属組織及び参加者のアクションプランを作成する。

【対象人材】

以下の実務に関わる行政官、非営利団体等の職員、代表者で実務経験年数が3年以上の者
(1) 地域総合開発計画、幹線道路沿線の地域開発
(2) 地場産業振興、まちづくり、観光開発

内 容

【事前活動】

自国の事例（道の駅に類似した道路沿線施設）のSWOT分析をまとめた（レポートの作成）

【本邦研修】

(1) 日本の行政システム、北海道総合開発の体制と計画、北海道の道路整備と地域開発に関する講義。
(2) 地域特産品ブランドの創出効果及びその開発を目的とした中小企業振興施策等に関する講義、開発・生産現場の視察。
(3) 観光振興施策及び観光振興に必要な視点に関する講義。
(4) 良好な沿道景観の確保や地域との連携（シーニックバイウェイ）、道路の多様な利用（道の駅）等に関する講義及び視察。
(5) アクションプラン作成を支援するための討議演習及びアクションプランの作成・発表。

本邦研修期間

2019/8～2019/9

担当課題部

社会基盤・平和構築部

所管国内機関

JICA北海道（札幌）

関係省庁

実施年度

2017～2019

主要協力機関

国土交通省北海道開発局

**特記事項
及び
ホームページ**